

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・原則として、償却原価法（定額法）によっております。

その他の有価証券・・・個別法による原価法によっております。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	515,370,000	0	16,424,300	498,945,700
定期預金	400,000	16,424,300	0	16,824,300
小 計	515,770,000	16,424,300	16,424,300	515,770,000
特定資産				
貸付事業引当投資有価証券	299,868,000	0	0	299,868,000
貸付事業引当特別預金	327,055,934	113,247,492	27,355,296	412,948,130
退職給付引当資産	1,089,667	586,133	1,213,800	462,000
道新みらい君奨学金引当資産	200,500,000	0	0	200,500,000
小 計	828,513,601	113,833,625	28,569,096	913,778,130
合 計	1,344,283,601	130,257,925	44,993,396	1,429,548,130

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	498,945,700	( 498,945,700)	( 0)	( 0)
定期預金	16,824,300	( 16,824,300)	( 0)	( 0)
小 計	515,770,000	( 515,770,000)	( 0)	( 0)
特定資産				
貸付事業引当投資有価証券	299,868,000	( 0)	( 299,868,000)	( 0)
貸付事業引当特別預金	412,948,130	( 0)	( 412,948,130)	( 0)
退職給付引当資産	462,000	( 0)	( 0)	( 462,000)
道新みらい君奨学金引当資産	200,500,000	( 0)	( 200,500,000)	( 0)
小 計	913,778,130	( 0)	( 913,316,130)	( 462,000)
合 計	1,429,548,130	( 515,770,000)	( 913,316,130)	( 462,000)

4. 担保に供している資産  
該当無し

5. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務  
該当無し